

経済学部 経済経営学科

経済学部のカリキュラムポリシー（教育課程の編成方針）

経済学部では、2年次後学期から専門教育課程のカリキュラムが本格的に始まります。

専門教育課程は「現代経済コース」「国際地域コース」「経営会計コース」の3コースから構成され、コースへの所属は2年次後学期の専門基礎演習への所属と同時に決まります。

1年次から2年次前学期までは、専門教育課程への準備期間で全学共通教育科目の履修と並行して、専門教育課程のカリキュラムの一部である「学部必修科目」と「コース必修科目」を履修します。

「学部必修科目」は、経済学部の学生が全員履修しなければならない科目です。

「コース必修科目（A科目）」は、2年次後学期から始まるコースごとの専門教育課程を修了するために必要な科目です。1年次から専門教育課程で所属しようとするコースを目指して履修することが求められます。

「コース選択科目（B科目）」は、コース必修科目で習得した基礎に立ち、さらに専門性を深めるための科目です。自分が所属するゼミ（演習）の学問専攻分野に合わせて、ゼミ担当教員の履修指導を受けながら科目を選択することが望まれます。

「学部選択科目（C科目）」は、他のコースの科目や経済学、経営学の特色ある重要分野を学ぶために置かれた科目です。これには、法律、専門英語、学術的スキル、資格講座、特殊講義などが含まれています。

専門教育課程の3つのコースには、それぞれ独自のカリキュラムが編成されており、2年次後学期以降は、それぞれのカリキュラムに沿って履修することになります。

4年次では、それまでの研究・学修成果を踏まえて卒業論文を作成します。卒業論文は専門演習4に組み込まれています。

経済学部のディプロマポリシー（卒業認定・学位授与に関する方針）

四日市大学が使命の一つとする「地域社会の求める人材の育成」。

これを受け経済学部は「地域の経済的・文化的発展に寄与する経済人・企業人の育成」を教育の目的とし、「情報技術の進歩」「地域と世界の接近」「多様な技能へのニーズ」などの新たな状況を踏まえ、学際的・国際的視野から総合的に問題を把握し、思考し、決断・解決できる能力を持った人間味あふれる人材の育成を教育目標としています。

経済学部では、修了したコースに応じて学士（経済）と学士（経営）の2つの学士号を授与します。現代経済コース修了者には学士（経済）、国際地域コース修了者には学士（経済）、そして経営会計コース修了者には学士（経営）がそれぞれ与えられます。

また経済学部は学士にふさわしい能力として卒業論文を重視します。専門演習を通じて自らの研究・学修成果を文章として表現する方法を習得し、最終的には自力で論文を作成します。経済学部を修了し、学士（経済）あるいは学士（経営）が授与されるためには、卒業論文の審査を通過する必要があります。

なお卒業論文には複数教員による審査制度を設けており、学士にふさわしい資質の獲得を審査します。

授与される学位

コース名	現代経済コース	国際地域コース	経営会計コース
授与される学位	学士（経済）	学士（経済）	学士（経営）